

石破政権は「原発再推進策」を止めよ！

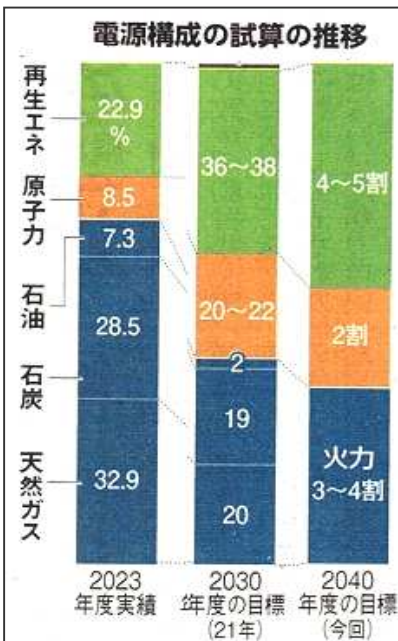
次期『エネルギー基本計画』で原発の活用拡大は許されない！

経産省は12月17日に来年2月に改定予定の「エネ基本計画」の原案を発表した。エネルギー構成は前回に比べ化石エネルギー部分が5割以下に減少されている。原発については現状の8.5%から2割程度にするとして、基本計画から「原発を可能な限り低減する」を削除した。しかし2040年には稼働中原発のほとんどは50年以上の老朽炉となる。原発の新增設は経済的にも、安全面からも極めて困難である。

「地球温暖化」問題で国際的には再生可能エネルギーの開発と拡大が進められている。日本は毎年のCOP総会で石炭火力をはじめとする化石燃料の削減の不充分を指摘されている。G7の環境相会議では石炭火力を35

年までに廃止を合意しているのに、日本はアンモニア混焼などの施策で継続しようとしている。今回の計画では石炭火力をほぼ維持し、石油火力、天然ガス火力については輸入価格の高騰等を理由に大幅に削減している。

原発の新增設には約20年の建設期間と1兆円近い建設費が必要。それを国家の補助と電気代への転嫁で実施しようとしているが、発電コストの高騰により原発の優位は失われている。



原発の発電コスト1.5倍に増加！

経産省は「2024年時点の発電コストの試算」を有識者会議に提出。この会議も原発関連業界や学界の代表者が中心である。

今回の試算では原発の発電コストが前回の1.5倍となり、太陽光より高くなった。それにも原発事故の処理費用の増大、建設費の高騰などはほとんど配慮されていない。実際にはより高くなる可能性が大きい。

また「再エネ導入に伴うコスト」を太陽光発電や風力発電には倍近く加算することで原発や火力発電を優位に見せようとしている。

2040年の発電コスト ※1kW当たりの発電コスト

	30年 [21年に試算]	40年 [今回試算]	40年 [再生エネ調整分を 除く今回試算]
原子力	11.7円~	16.4~18.9円以上	12.5円~
LNG火力	10.7~14.3円	20.2~22.2円	16.0~21.0円
太陽光(事業用)	8.2~11.8円	15.3~36.9円	7.0~8.9円
陸上風力	9.8~17.2円	19.5~25.2円	13.5~15.3円
洋上風力	25.9円	18.9~23.9円	14.4~15.1円

衆議院で過半数を失った自公連立政権

補正予算の成立と引き換えに政治改革3法成立へ

10月の総選挙で自公政権は過半数議席以下となり、一方的な政権運用はできなくなった。「政治とカネ」の影響は90%以上(共同通信世論調査)もあり、補正予算を成立させるには、野党要求の政治改革を受けざるを得なかった。

ようやく国会審議が戻ってきた

安部政権以来、重要案件は与党協議と閣議決定でほとんど決めて、議会は形式的に審議するだけであった。今回から予算委員会委員長は野党から選ばれ、議論が展開されている。

政治改革3法案が本会議で可決

党から議員個人に渡されてきた公開義務のない「政策活動費」の全面廃止。政治資金全体を監視する第三者期間の設置。外国法人の政治資金パーティー券購入禁止などの法案。但し

野党4会派が提出した「企業・団体献金の禁止法案」は自民党の反対で、来年3月までに結論を出すことになった。

議員に月100万円支給される「調査研究広報滞在費」の用途公開と残金返納義務の歳費法改正案も決定した。

生活・年金・軍事等の追及も

補正予算に対して、立憲民主の「能登地震への1000億円増額」の修正意見が取り入れられた。本予算の審議では生活や年金、そして軍事問題への活発な審議こそが必要である。

自民、立民両党の政治改革法案を巡る合意ポイント

- 自民は立憲民主など野党7党提出の政策活動費廃止法案に賛成
- 自民案の支出先を非公開にできる「公開方法工夫支出」の新設は見送り
- 国民民主、公明両党提出の第三者機関設置法案に自民、立民ともに賛成
- 立民が提出した企業・団体献金禁止法案の扱いは来年3月末までに結論
- 17日の衆院政治改革特別委員会で採決し、本会議に緊急上程

兵庫県知事選挙では、立花候補による「2馬力選挙」、「デマ宣伝」と頻発した暴力攻撃、PR会社を使った買収疑惑、公益通報者への攻撃、稲村候補に対するNETでの誹謗と妨害が行われ、告発も始まっている。12月25日の百条委員会(斎藤知事尋問)の直前に、「兵庫県知事選挙に異議あり！真相究明県民集会」が開催された。会場の神戸市教育会館には立見を含め600人以上、入口で署名をした人が合計で約1300人、会場周辺で見守った人が1000人近く、NET中継に2500人以上の大盛況だった。

怒りを結集して開かれた県民集会

百条委委員でもある植野県会議員から報告。「今回の選挙は負けたけど、公職選挙法の問題、ネットの問題など多くの問題を解決していかなければならない」「12月の県議会では全会一致で意見書

を採択して、国会での法改正を要請した」「個人情報漏洩問題の告発も検討中

である」「斎藤知事については百条委員会で検証していくし、議会でも追及していく」「25日の百条委員会には斎藤知事、片山元副知事が出る」「百条委員会ではかなりの真相が明らかになって来ており、2月に報告書を作成する」「第三者委員会は3月に報告が出る」「各議員には悪質な攻撃が続いている」「元県民局長の名誉回復も考えたい」。



引続き、県会議員からは、斎藤陣営がSNSを使った嫌がらせを続けていること、百条委員会を攻撃し、民主主義を潰そうとしていると報告があった。続いて市民、ジャーナリストからも発言が行われた。

(兵庫県知事選挙の無効を要求する)決議文(要旨)

この選挙は私たちが経験したことのない異様な選挙でした。斎藤・立花陣営は選挙活動を「2馬力」で展開し、X やユーチューブなどSNSでデマやフェイクを大量に拡散しました。相手候補のSNSを凍結、PR会社がSNSを駆使した選挙活動を行いました。

以上のような法律違反満載の選挙は、民主主義の根幹をゆるがすものであり、その結果を有権者として受け容れることはできません。ここに、今回の兵庫県知事選挙を無効にすることを、兵庫県選挙管理委員会に申し入れます。認められなかった場合は、村上総務大臣にこの決議文を提出します。

2024/12/22 真相究明県民集会参加者一同

朝日新聞「民意のゆくえ」都知事選の石丸現象から県知事選の斎藤現象へ の紹介(12/17記事) 選挙動画投稿「コスパがいい」

東京都知事選で石丸候補が蓮舫候補を抜いて165万票を獲得し次点となり、兵庫県知事選では劣勢と言われていた斎藤候補が110万票で当選した。その背景には「新自由主義経済」による格差の拡大、不安定雇用などによる若者・市民の怒りと不満がある。今回の現象は、SNS等のネット環境を利用したグループによって、その不満が組織され選挙結果に反映したといえる。今後の選挙では同様の動きが展開されるだろう。今回は朝日新聞の特集「民意のゆくえ」(12/17)をもとに「SNS」の影響力を理解したい。

今や新聞やテレビは過去の遺物？

先の総選挙で参考にしたメディアについての調査では、70代以上は新聞、60代はテレビ、40代以下はSNSとNET、20代ではNETが半数を超えている。選挙期間中は新聞・テレビは「公平」の縛りで鋭い指摘はできない。

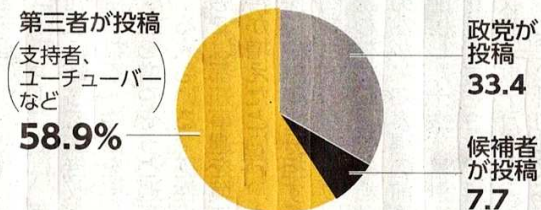
NET ではそうした規制はなく、事実だけでなくデマや誹謗中傷も発信できる。知事選挙ではユーチューブの関連動画が約4.7億回再生され、半分が石丸氏関連であったという。SNSでは煽情的な内容の方が拡散されやすいこと、そして再生回数に応じて収益が得られるので投稿されるデータは過激化するとされている。

やりがいを感じて、小遣いも稼げる選挙運動

18歳以上の有権者のユーチューブのユーザー数は7千万人以上。それ以外に「TikTok」等もある。昔は友人同士のやり取りが中心であったが、今は「バズった」(=人気の)動画が次々と現われてきたり、「おすすめ」動画が勝手に表示される仕組みになっている。意識的に投稿し

て、グループで再生を繰り返すことで、広範に広めることが出来る。そのうえ再生回数に応じて小遣い(活動費)も稼げるのである。

衆院選期間中のユーチューブ関連動画の再生数「イチニ」調べ



SNSの変化がもたらしたもの



関西わだつみ会機関紙「海」をご購読ください

関西わだつみ会は1978年から地域での活動を開始してきました。2013年に関西での活動を強化するために機関紙を再開しました。

地域で行われている諸運動に会員が参加し、闘いの息吹を伝え、わだつみ会の主張を伝えることを課題としています。16頁で年4回の発行を目標に活動しています。投稿も歓迎します。ぜひご購読ください。

機関紙『海』購読の手順

4号分(ほぼ1年)

郵送料を含み1000円
切手(110円×10枚)を郵送でお送りください

宛先:永島昇

TEL.:090-3161-8677

住所:〒665-0881

宝塚市山本東1-3-15

MAIL:

west_umi@khc.
biglobe.ne.jp

47号の目次 9/17	
イスラエルは停戦し撤退せよ	1
わだつみ会8・18平和集会	2
岸田政権の大軍拡と戦争準備にNO	3
池田五律さんの講演	4
報告 2024・7・7 記念集会	5
守ろう平和・なく総戦争展 2024 宝塚	6
堺 平和のための戦争展	7
報告 8・31 関東大震災101年	8
報告 日本学術会議 会長の声明	9
中学校教科書採択の結果	10
右翼教科書を一掃した大阪の採択	
投稿:旧統一教会と政治の癒着	11
投稿:東京都知事選の結果	12
靖国神社と自衛隊の異常な接近	13
松岡勲の読書案内(6)	
「海の城 海軍少年兵の手記」	14
自民党憲法改正草案批判(46)	15
岸田改憲の失敗	
運動の交流欄	16
大分教戸、祝園弾薬庫、森友事件	



48号の目次 12/19	
総選挙の結果とわだつみ会の課題	1
12/1 木戸衛一 ドイツに於ける極右の増大	
報告 わだつみ会不戦のつどい(12/7)	2
「天皇とは何であったか」子安宣邦	3
教科書集会(1/13)の案内	4
11/17 榎津さんの講演	
報告 宝塚母親大会(11/17)でパネル展示	5
山内若葉さんの第五福竜丸での絵画展	
報告 沖縄・西日本集会 in 大分(11/30)	6
11/23 沖縄連帯スタンディング	
報告 川崎重工への抗議行動(12/6)	7
11/7 大阪港への米軍艦入港反対	
報告 前田朗 関東ジェノサイド(11/10)	8
11/2 関東大震災大虐殺展示会	
報告 青井美帆 戦争でなく平和の準備を	9
11/22 服部良一講演「靖国と自衛隊」	
報告 太田修 日韓条約 80年	10
報告 わだつみ会秋期理事会(11/12)	11
12/3 立命館大 わだつみ像前集会	
投稿:三笠宮百合子葬儀に3.2億円	12
投稿:兵庫県知事選の問題点	13
松岡勲の読書案内(7)	
「戦艦武蔵の最期」(渡辺清)	14
自民党憲法改正草案批判(47)	15
同性婚の法的否認は憲法違反	
運動の交流欄	16
11/3 護憲集会 11/4 朝鮮高コンサート	
11/23 森友怒りのデモ 12/4 ビースタンドイング	
即位・大嘗祭違憲訴訟 控訴書	

わだつみ会機関誌「わだつみのこえ」をご購読ください

わだつみ会は1959年から機関誌「わだつみのこえ」を年2回発行しています

161号を2024年12月23日に発行します。内容は下欄に一覧しています。

ぜひご購読いただきたいと思えます (定価1000円です。消費税、郵送料は当方負担)

申込み MAIL: info@wadatumikai.com 又は west_umi@khc.biglobe.ne.jp

「わだつみのこえ」161号(2024/12/23)の主な内容

【特集 8・18 日本戦没学生記念会平和集会】

岸田政権の大軍拡と戦争準備にNO!

【特集 軍拡・戦争準備と闘う各地の闘い】

日米の「対中国戦争態勢」とは何か
戦争する国へ 未来の死者の声を聞け
軍事優先国家日本の大分から声をあげる
佐賀オスプレイ基地建設反対

呉を再び「軍都」にするな!

戦争がやってくる! 祝園弾薬庫建設

基地強化・戦争準備づくりをとめ、平和の実現

未完の交差的連帯 終わらない虐殺の中で考えること

戦争を準備する軍学共同と日本学術会議「法人化」

「鶉野飛行場跡」の展示は平和教育に反する

深刻になる過労死の現状

瀬戸内海を未来に引き継いでいけるのか

治安維持法で捕まった国民学校の朝鮮人の子供たち

書評「海の城 海軍少年兵の手記」「戦艦武蔵の最期」

わだつみ会 2024 秋期理事会報告、関西わだつみ会報告

池田五律

高井弘之
新垣邦雄
池田年宏
豊島耕一
西岡由紀夫
八木建彦
滝川順朗
役重善洋
小寺隆幸
田中正志
田村和男
末田一秀
宋 実成
松岡 勲



日本戦没学生記念会
(わだつみ会)
機関誌

宮崎駿さんがマグサイサイ賞を受賞 (朝日 11/29)

「アジアのノーベル賞」といわれるマグサイサイ賞を受賞した宮崎駿監督は、フィリピンの首都で開かれた授賞式で、「日本人は戦時中、民間人をたくさん殺しました。日本人はこのことを忘れてはいけません」とのメッセージを送った。フィリピンでは日本の占領と戦争、日本軍による虐殺等で100万人以上が死亡した。

在沖縄海兵隊がグアムに移動 (神戸 12/15)

日米政府は2006年に在日米軍の再編で合意していたが、在沖縄米海兵隊100人のグアム基地への移転が開始された。沖縄にいる19000人のうち9000人を国外に移転させる。ただ完了の時期は未定である。日本は移転費用としてすでに移転先の隊舎や訓練場などの費用3730億円を負担している。

韓国 大統領の弾劾決議が可決 (朝日 12/14)

12月14日に韓国の国会では3分の2以上の賛成で、戒厳令を発令した尹大統領の弾劾決議が採択された。与党の12人も賛成に加わった。憲法裁判所での弾劾審判で罷免の有無が審判される。それまでは首相が大統領職務を代行する。

フランスとドイツで内閣不信任可決 (12/6, 17)

フランスで9月に発足したバルニエ内閣(少数連立)に対し議会は4日に内閣不信任案を可決した。ドイツ連邦議会は12月16日、シュルツ首相(社会民主党)の信任投票を反対多数で否決した。

維新 都構想再検討へ (朝日 12/18)

総選挙でも全国的に後退し、馬場代表が不正問題などで退陣した日本維新。他にいないとの理由で選ばれた吉村新代表は、前回の敗北時の約束を破り、3回目の「大阪都構想」をめざそうとしている。

原発避難の国家責任を否定 (朝日 12/19)

原発避難京都訴訟の控訴審で、大阪高裁は国の賠償責任を認めない判決を行った。大阪高裁は東日本大震災が地震予測をはるかに超えた規模であったとして、京都地裁が認めていた「国の責任」判決を変更した。原告弁護団は上告する方針である。

告発局長の個人情報拡散を第三者委で (神戸 12/19)

兵庫県知事は18日の記者会見で、個人情報問題を第三者委員会で事実関係を究明するとした。

報告 12/20 原発いらナイト in 宝塚 141回



「原発いらナイト in 宝塚」の141回は、20日に宝塚駅連絡橋で10人で実施しました。サクソフォン演奏の下、150枚のチラシを配付しました。

報告 12/22 自衛隊伊丹駐屯地抗議行動



陸上自衛隊第3師団西門で237回目の申入れ行動を展開。キーンソード日米軍事演習などの戦争準備を止め、平和のため外交努力を要求した。

案内 12/28 神戸朝鮮高級学校コンサート



政府は朝鮮学校を無償化対象から除外。宝塚では抗議して、「吹奏楽と詩の夕べ」実行委が結成され、朝鮮高級学校と連帯して「神戸朝鮮高級学校コンサート」を開催してきた。

日時: 12月28日(土曜)14時
場所: 宝塚ソリオホール

案内 1/13 戦争へとむかう教育を許さない!



中学校教科書採択全国報告集会

第1部 2024、育鵬社を追放した闘いと新たな戦前の社会・道徳教科書

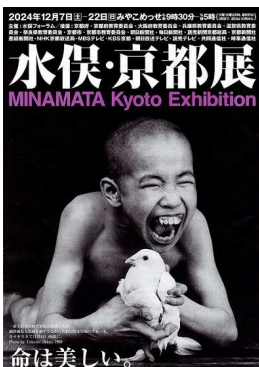
第2部 各地からの報告

日時: 1月13日(月) 14時より
場所: 大阪国労会館 3階会議室
主催: 「戦争教科書」はいらない!大阪連絡会

国民民主「支持」が野党首位に (朝日新聞調査)

朝日新聞社の全国世論調査での政党支持率で、国民民主党(10→11%)が立憲民主党(13→9%)を上回って第1党となった。年代別では18~29歳では国民は28%で、自民16%、立憲11%に大きな差をつけている。ほぼ同時期に行われた神戸新聞でも、国民民主党(9.0→12.6%)が立憲民主党(15.1→11.3%)を上回って第1党となった。

報告 水俣・京都展(みやこめっせ)



「水俣フォーラム」が主催する水俣展が12月7日から22日まで開かれた。会場は知恩院のそばの「みやこめっせ」。

水俣病の闘いには多くの友人が協力されてきたこともあり見学させてもらった。(N)

1956年に公式に水俣病が発見されたのに、政府が公害と認定したのは1968年、1995年の村山政権でようやく政府が責任を認め、2004年の最高裁が国と県の行政責任を確定するまで実に50年が経過している。しかし企業

チツソはまだ誠意ある対応をしていない。

企業と科学者、自治体の態度

企業(チツソ)は止める意思がなかった。科学者は原因をあいまいにし、国はチツソを守り、熊本県はデータを死蔵し、そして水俣市民は沈黙させられた。それは原発問題での動きと同じである。

患者や反対運動家は悪人とされた

闘いの中で多くの被害者が逮捕された。抗議する川本さんには「患者、患者とのぼせるな!」「(抗議)テントを撤去するなら釈放してやる」との悪罵が掛けられた。